

ゆうゆう通信

令和5年2月10日発行 第45号

発行 飯田市立病院介護老人保健施設
ゆうゆう 広報委員会
〒395-8503 飯田市上郷黒田341
電話 53-6048 FAX 53-6047



新年のご挨拶

ゆうゆう施設長・高松診療所長
金子 源吾

新年あけましておめでとうございます。今年もゆうゆうがさわやかな新年を迎えることができましたことは関係各位のご理解とご支援の賜物であり、心より感謝申し上げます。すでに遠い昔の出来事のように思われますが、昨年はロシアのウクライナ侵攻、三冠王村上様や二刀流大谷選手の活躍、安倍元総理大臣の銃撃事件および国葬、サッカーワールドカップでのブラボー日本チームの健闘などいろいろありました。ただし、一年を通じてみるとやはり、新型コロナウイルス感染に振り回されたという印象が強く残っています。特にゆうゆうにとつては何と言っても10月に起きたコロナ感染のアウトブレイクが一番かと思えます。一か月あまりで入所者、職員合わせて50名近くが感染しました。皆、十分注意していたにもかかわらずクラスターとなり、大変なショックを受けました。利用者およびご家族の皆様をはじめゆうゆうに関係する多くの皆様のご協力のおかげで予想以上に早く施設内感染が治まりました。また、感染が主因の犠牲者がなかったことも不幸中の幸いでした。この経験を通して、多くのことを学びました。主なところでは、感染していても症状がない期間（潜伏期）があり、この期間にも感染させることがあること。抗原検査が陰性であっても感染を否定できないこと。重症化リスクのある高齢者には感染したらできるだけ早く抗ウイルス薬（ラゲブリオなど）を飲んでいただくことなどです。これらの情

報を共有して、今後のコロナやインフルエンザの感染拡大防止に取り組んでいきたいと思っています。新型コロナウイルス感染が日本で初めて診断されて、この一月でちょうど三年になりました。ワクチンによる集団免疫の確立や抗ウイルス薬の開発・普及によって、今年こそ感染が収束することを期待しています。

もう一つ、今年もぜひ続けたいことがあります。それは在宅復帰・在宅療養支援機能に対する評価として、超強化型老健の施設基準を維持することです。算定要件として退所時指導、リハビリテーションマネジメント、地域貢献活動および充実したリハビリテーションの提供などがあります。長野県に老健が80以上ありますが超強化型は現在14施設しかありません（全老健ホームページ）。最近の国全体の医療・介護制度改革の方向性として、団塊の世代がすべて75歳以上となる2025年を念頭に地域包括ケアシステムの構築が進められています。その中であって「ゆうゆう」は高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援を目的に、介護の質向上とともに信頼される介護サービスの提供に努め、介護老人保健施設としての役割をはたしていきたいと考えています。

2023年が皆様にとりまして、明るく、希望に満ちた良い年でありますように心から祈念しています。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



クリスマス会 2階

2階フロアではクリスマスに合わせてクリスマス会を企画させて頂きました。アコーディオンに合わせてクリスマスソングを歌い、それに合わせて体操を行いました。最後はサンタクロースや仮装した職員が利用者様の写真やシールを飾り付けたクリスマスカードをプレゼントしました。クリスマスソングに馴染みが無い利用者様も多かったのですが、笑顔で体操も行ってくれており楽しんで頂けたかと思えます。職員も鈴やアコーディオンによる演奏で周りを大いに盛り上げ、一緒に楽しみました。

職員による体操
を行いました♪



アコーディオンの演奏で歌いました。職員も仮装して盛り上げました♡



クリスマス会 3階

「クリスマスって知ってる?」「しらんなあ」普段からそんな会話が飛び交うフロア。クリスマスの曲はやめて、冬景色や蛍の光など利用者様になじみのある冬の曲を職員のピアノ伴奏に合わせて歌いました。普段はあまり喋らない男性利用者様も歌集を見ながらはつきりとしたいい声が出ていました。クリスマスはなんだかわからなくても、皆と一緒に歌ったりすることは好き。そんな様子でした。

おやつには可愛いケーキと一緒に中学生の子供が描いてくれたポストカードをもらおうと、皆さんの表情が一層明るくなりました。ニコニコの笑顔をカメラにむけてくれました。もうすぐお正月なんと言うとみんなソワソワしてしまうので、体調に気を付けて冬を乗り切りましょうと、会をしめました。



クリスマス会 デイ

デイケアでは12月19日から22日までクリスマス会を行いました。

クリスマスの雰囲気味わって貰える様に作品作りをしました。一人ひとりが赤や緑の画用紙を三角に切ってビーズ等で飾り付けをして、様々なクリスマスツリーを作ることが出来ました。出来上がった作品は自宅に持ち帰り飾られた方もいました。

職員の出し物ではハンドベル演奏をしました。「きよしこの夜」「諸人こぞりて」の曲が流れると一緒に歌をうたってくれる方もいました。利用者からは「素敵だったので毎日でもやって欲しい」「ブラボー」など大勢の方が喜んでくれました。おやつはケーキと好みの飲み物でした。コーヒーや紅茶、ミルク等を選んで頂き、皆さんで美味しく食べることができました。コロナ禍で出来ることが限られてしまいますが、楽しい時間を過ごすことが出来ました。



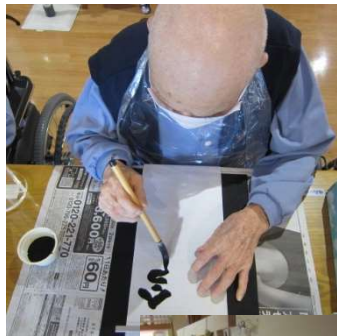
2階 お正月

3階 お正月

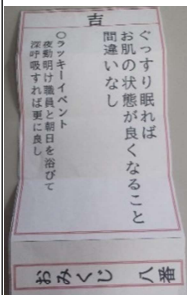
デイ お正月

年末年始には、ゆうゆう神社へお参り・おみくじ・だるまの目入れ・書初め・記念撮影等、職員と共に楽しみました。だるまは10年ほど前に職員が作成したものが限界となり新しく作成した、だるまで新年を迎えることができました。

また、毎日のように、ゆうゆう神社へのお参りを行う利用者様も多くいらつしやいました。コロナ中、家族と一緒に過ごせないため、お互いの健康を願ってお参りされてたようです。お正月の歌に合わせて体操なども行いました。窓の外の見える風越山を眺めたり、朝日を浴びたりして各々お正月を楽しみました。



新年を迎え、ユニットの壁には利用者様の書初めや塗り絵等の作品が並び、新しい年が到来した...という雰囲気になりました。今年のお楽しみ会は恒例のおみくじと福笑い、皆で楽しめる坊主めくりを行いました。おみくじでは出た運氣を見て隣同士「あなたの方が運氣がいいわね」「大吉より上があるなんて!」(実は超大吉があったのです)等の声が上ががり盛り上がりを見せました。坊主めくりは予想以上に盛り上がり、姫を連続引きあてた後に坊主を引いてしまう利用者様の姿に本人も含めて皆で大笑い。せっかく手元の札が増えたと思ったら直ぐに取られてしまい残念がる姿。福笑いでは皆で指示を出し合いながらも個性的な表情に仕上がり大笑い。利用者様の笑い顔が溢れる会となり、今年もきつと良い一年になるだろうと感じる事ができるひと時となりました。



デイケアのお正月行事は、書き初めと福笑いを行いました。書初めは、たくさんのお手本の中から、自分が書きたい字を選んで書きました。お手本にない字を考えて書く方もおられました。筆を持つのは何十年ぶりという利用者様もおられ、始めはおぼつかない様子でしたが、慣れてくればスラスラと筆を走らせていらつしやいました。

福笑いは、面白い目を書いたアイマスクをして、職員や周りの人の声をヒントに、眉や目、鼻、口を置いていきました。アイマスクをとった瞬間、思わずできた顔に大笑い。中には自分より綺麗な顔ができた、喜んでおられる方もいました。書初めや福笑いを通して、お正月を楽しみました。



高陵中学校より 歌のプレゼントが届きました

高陵中学校学芸委員会より、寄せ書きと歌のCDが届きました。

早速各フロアにてCDを掛け、利用者様に学生たちの歌を聴いていただきました。声に真剣に耳を傾けている姿や隣同士で感想を言い合う姿が特に印象的でした。寄せ書きも壁に掲示させていただき、通りかかる利用者様の目に留まると、「これは誰が書いてくれたものか」と、興味を持って見ておられました。素敵な歌声と心温まるメッセージをありがとうございました。



利用者様が使うベッドを 一部更新しました

ゆうゆう入所にて利用者様にお使いいただくベッドを一部更新しました。

見た目もやや高級感が増した印象ですが、内容もギャッチアップの角度やベッドの高さが表示されるようになるなど、ケアの質を高められるような機能が新たに追加されています。大きな変更点としては今回のベッドには離床センサーが内蔵されており、それぞれの利用者様に合わせた設定ができるようになっていきます。例えば、起き上がり時や、離床してから何分経過したらナースコールに連絡がくるようにするなどの細かな設定をすることができます。これにより、利用者様の安全をより高め、転倒や転落を防ぐことができます。



離床センサー内蔵



編集後記

新年を迎え心新たに、今年の目標を立てましたが早くも一か月が過ぎてしまいました。目標に向かって順調にはいかない今日この頃。なんとか目標達成できると良いのですが…。今年も一年よろしく願っています。(た)



りんごを寄贈して
いただきました

シチズン時計マニファクチャリング株式会社
社飯田殿岡工場様と中日本高速道路株式会社名
古屋支社飯田保全・サービスセンター様から、そ
れぞれの敷地内で管理されているリンゴの木か
ら収穫されたリンゴをたくさんご寄贈いただき
ました。いただいたリンゴは、ゆうゆうご利用
者様の食後のデザートやおやつとして提供させ
ていただきました。食されたご利用者様からは
「おいしいりんご」と、とても好評でした。

